

入浴でデイ後放

特養施設の設備利用

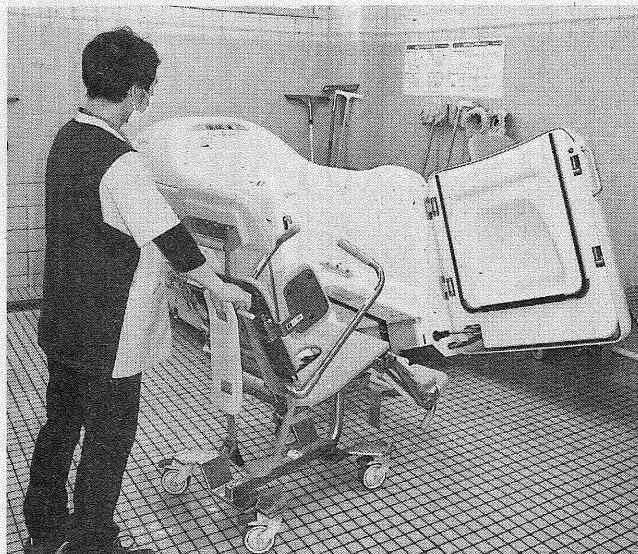
船橋市三山2の特別養護老人ホーム「三山園」内に、重度心身障害児を対象とした児童発達支援・放課後等デイサービス施設「ガーデンちとせ三山園」が4月1日オープンする。車いすに乗ったままで利用できる入浴設備を高齢者施設と共同利用し、自宅で重度心身障害児を入浴させてきた家族の負担軽減を図る。

(藤田泰彰)

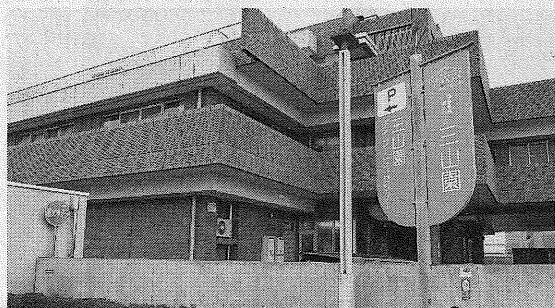
車いすのまま入浴できる浴槽＝船橋市の特別養護老人ホーム「三山園」

運営する社会福祉法人「千歳会」(千葉市稲毛区)によると、老人ホーム内にある放課後等デイサービス施設は県内で他に例がなく、重度心身障害児に特化した同サービス施設も県内で初めてという。

「ガーデンちとせ三山園」は高齢者向けデイサービスで利用していない特養1階の部屋(約75平方メートル)を活用。看護師や理学療法士らが常勤する。浴室に



船橋「三山園」1日オープン



特別養護老人ホーム「三山園」内に「ガーデンちとせ三山園」が1日にオープンする

は車いすのまま入浴できる浴槽などが整い、脱衣所には冷暖房も完備。午前には高齢者、午後に障害児が利用する。障害児の入浴は看護師1人を含む複数で介助を行う。

同法人の左敬真理事長は「入浴は清潔を保持するだけではなく、周囲とコミュニケーションを図っていく上でも重要。体の異変にも気付ける。家族が自宅で入浴させると転倒のリスクがある」と入浴支援の必要性を強調。送迎も行い車両は高齢者との共有を図る。

1日の定員は6人。既に船橋、習志野、八千代市から利用の申し込みがあるという。左理事長は「地域の中で0歳児から高齢者まで責任を持ってサービスを行っていききたい」と話した。

特別養護老人ホーム「三山園」は船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷市で構成する四市複合事務組合が運営してきたが、昨年4月、同法人に移譲された。